

# 大好評の 度牒団参交付式



平成22年9・10月  
合併号

発行所  
〒299-5505 千葉県鴨川市  
清澄322-1  
©清澄寺  
TEL 04 (7094) 0525 番  
FAX 04 (7094) 0527 番  
振替 00140-5-55501  
印刷所  
天津 (株)ブラザー印刷  
送料共1部100円

## お知らせ

### 10 月

27日 14:00  
お会式  
27日 19:00  
信行会(唱題行)  
28日  
晓天法要

### 11 月

27日 18:30  
信行会(唱題行)

### 12 月

27日 18:30  
信行会(唱題行)  
31日 19:00  
除夜祭  
23:35  
水行式  
23:55  
除夜の鐘

夏休みや日曜に

## 度牒団参相次ぐ

単位寺院でも度牒が交付されるようになりましてから早三年。

これを「度牒団参」と名付けて実施されておりますが、まだ内容・状況等が良く把握されていないようですので、一年程前に引き続き、詳細レポートを掲載させて頂きまます。  
今までに十三ヶ寺様が申し込まれ、実施させて頂きました。大変好評でございました。

最近、実施されました寺院は、

★八月二十九日～三十日  
相模原市顕正寺様  
師僧 野々村光正上人  
度牒生は、  
野々村匡弘さん二十歳  
檀信徒五十八名参加

★九月五日～六日  
台東区浄延院様  
師僧 菅野龍清上人  
度牒生は、  
菅野慎一さん十二歳  
檀信徒三十八名参加

顕正寺様の場合は、今までは最高人数にあたる五十八名の参加者で大変賑わ

いのある式典でした。  
又、淨延院様は十二歳と

いう年齢で、度牒生の中では最低年齢の枠にあたりますので、一人で受ける読経試験などは大変緊張もあろうかと思いましたが、思ったほど緊張の様子は見られなく、山務員も感心をしておりました。

祖父にあたります本山海長寺の菅野日彰貫首様もお孫さんの度牒式に参列されました。

度牒法式実習や読経試験担当の村田主事は、谷中学寮の卒業生であり、菅野貫首様の薫陶を受けており、又、副寮監の経験もありますので、菅野初代寮監、現菅野龍清寮監、元・村田副寮監、度牒生、連綿と続く指導者の揃った顔ぶれに、山内ではひととき強く関心を持たれると同時に、緊張感の漂う中の度牒団参でしたが、無事に式典が進行されておりました。

それでは、度牒団参を行なってみよう、と思った時点から、タイムテーブルに

そつたレポートを記させて頂きます。

まず最初に行なうべき事は、清澄寺と日程の相談をして頂く事に始まります。

日程が決まれば、あとは今までと同様、各宗務所經由で宗務院への手続きとなります。

寺院では、これに並行致しまして、檀信徒の皆さんにお寺の行事として、又、団参行事の一環としての計画をたて、檀信徒或いは親戚関係にも連絡をされ、参加者人数を集めて頂く事になります。

規定では、檀信徒のご参加は、三十名以上となっております。

日程等がお決まりになりましたならば、当山までお早めにご連絡下さい。

次に、度牒当日の流れについて詳細をご説明したいと思います。

尚、掲載写真は前記二ヶ寺の様子を使用させていただきますのでご了承願います。

受け付けは午後二時からになります。  
受け付け後は、開会式法要。



(開会式法要)



(執事長の挨拶)



法要後は檀信徒に見送られて、度牒生のみ祖師堂にて研修になります。

この時間帯に、檀信徒は道場で写経。



その後、写経は納経塔に師僧により納めて頂く事になります。



そして境内散策説明を山  
務員がご案内させて頂きま  
す。  
祖師堂では村田主事が所  
作・読経・明朝の交付式の  
リハーサル等を指導、最終  
的には佐々木執事長によつ  
て読経試験が行なわれま  
す。



四時半から度牒生と合流  
して大堂にて虚空蔵菩薩の  
御開帳があり、その後夕食。



夕食は度牒生と参加者全  
員が一緒にいただく形にな  
ります。



六時からは千葉南部宗務  
所長或いは副長が法話をさ  
れます。



引き続き山務員指導で唱  
題行。少休のあと、日蓮大  
聖人御一代記の映画鑑賞。  
そして入浴、午後九時には  
就寝となります。

翌朝は日の出時刻の關係  
で時期によって起床時間は  
異なりますが、旭が森にて  
ご来光、この時の導師は師  
僧が行ないます。



(日蓮聖人像に読経、  
続いてご来光法要)



そしていよいよ度牒交付  
式となります。



交付式後は、堂内或いは  
祖師堂前にて集合写真撮  
影、この時は時間が束縛さ  
れませんので、師僧と或い  
は別当とのツーショットの  
写真、参加者も随意の顔ぶ  
れで特別写真が撮影出来る  
ことは言うまでもありませ  
ん。心ゆくまで後世に残る  
記録を堪能していただけま  
す。

そして研修会館にもど  
り、朝食を済ませて解散と  
なります。

以上、大まかになります  
が、このような流れで進行  
致します。

この度牒団参の特徴、或  
いは感激されます所を申し  
ますと、



① 清澄寺を度牒生関係者が貸切で過ごせる事。  
 ② 祖師堂内の大聖人の現前で師僧・家族・参加者等で自由に記念写真が撮れる。  
 ③ 別当様等とツーショットの写真が撮れる。

等々ありますが、反面、度牒生本人は何をするにも一人なので大変緊張される事と思います。

しかし、後々の事を考えますと、大変素晴らしい経験とされる事は間違いありません。

歴史の変遷もある中、度牒を受けるならば非貸切の度牒団参をお勧め致します。

九月十三日、宗祖日蓮大聖人「日本第一の智者となし給へ」と祈誓された虚空蔵菩薩の大祭が執り行なわれました。

年参団参、栃木県無畏講樋口周二様講元一行をはじめに全国から虚空蔵菩薩にご祈願を申し込まれました御札を御宝前に供え一日中御祈禱を致しました。

午後二時からは二宮別当導師の下、修法導師に佐々木執事長、山務員修法師出席



# 虚空蔵菩薩 大祭奉修



仕にて大法要を厳修いたしました。



当日は今年の異常な季候で蒸し暑く、修法師はもとより参列者の皆さんも汗を拭きながら御祈祷を受けておられました。



### 六年ぶりに千葉南部寺院婦人会主催

## 和讃発表大会開催



(親しくご挨拶される別当)

九月二十八日、前夜からの大雨が降りしきる中、和讃発表大会が開催されました。

この発表大会は、平成十六年に第一回が開催され、以来六年ぶりのことで、参加者は前回を遥かに上回る二十五団体で寺院婦人二十六名を含み、総勢三百二十名でした。

大雨の中、苦勞をされての会場入りでしたが、午前九時半開会、二宮別当のご挨拶に始まった大会も、お昼近くからは雨も弱まり、午後三時閉会して帰りの頃はすっかり雨もあがっておりました。



## 全国潮師法縁千葉大会登詣

九月二十八・二十九日、第四十五回全国潮師法縁千葉大会が、小湊誕生寺で開催され、翌日は、谷中瑞輪寺貫首・全国潮師法縁長井上日修猥下始め、多くの法縁各聖が当山へ登詣頂き

開帳されました。開帳後、二宮別当は、各聖に当山の状況を話され、深いご理解を頂きました。今大会の委員長を二宮別当が努められ、無事円成されました。

## 本堂・祖師堂 渡り廊下 ジュウタン奉納

この度、新別当登山の為、当山特別大本願人、(株)開運社長 笠原貞子様より、本堂から祖師堂へ渡る廊下にジュウタンを新調していただきました。



### || 計報 ||

#### 清澄寺元執事長

#### 萩野泰政上人遷化



平成二年四月から同四年十月までの二ヶ年半、第八代別当・小林日芳猥下の代に奉職をなされておられました萩野泰政上人が遷化されました。

奉職中は、物事の対応にはすぐに行動をおこされ、開宗七百五十年が始動し始めた時期でもあり大変ご尽力を頂きました。

自坊は鴨川市(旧天津小湊町)の高生寺で清澄寺からは車で十分くらい、自坊の法務をこなしながらも山の事を真剣に考えて下さいました。

又、天津小湊町時代には町会議員も務められ、九月三十日の密葬には、大勢の方がお別れに参列されておりました。

九月二十五日遷化

智光院日昇上人 世寿八十三歳

謹んで増円妙道をお祈り申し上げます。

合掌

